



# ラーチャプルック ราชพฤกษ์

※「ラーチャプルック」はタイを代表する花、ゴールデンシャワーをタイ語で表現したものです。

<https://www.tjas.ac.th>  
小学部第1職員室  
02-314-7334  
小学部第2職員室  
02-369-2750  
中学部職員室  
02-314-7335

## 校長室より

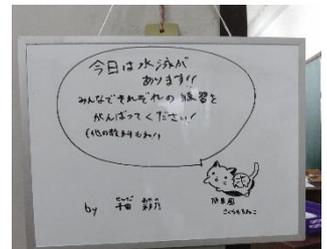
校長 谷口 幸一郎

### ちょっとしたことだけと

「**大きくな一れ**」登校して間もなく、学級で育てている「**くうしんさい (パックブン)**」の様子をプール横にある学級園に行って、苗の生長を観察している1年生がいます。また、色々な国の「**米**」を育てている5年生も灌水とともに観察を行っています。彼らの大きくなって欲しいという思いが、きっと届くと思います。

実は、以前勤めていた学校で花作りに取り組んでいました。子供たち全員が種から育て、ポットへの仮植を2回行った後、最後に自分のプランターや学校園で花を咲かせる活動でした。育苗の途中で、子供たちは自分の苗ポット入った5ケース(1ケースに24個の苗)の灌水と除草管理を行っていました。まめに足を運び世話をする子供もいれば、あまりしない子供もいました。結局、世話をする子供はそうでない子供の分まで面倒をみてあげていたのですが、**あまり世話をしない子供の苗は、生長が芳しくない傾向**がありました。その年に限ったことだろうと思っていたのですが、2年目も同じことが起こったのです。この花作りに長年携わってきた主事さんに尋ねると、「**校長先生、理由は分かりませんが、毎年ですよ。**」と。やっぱり次の年も同じ現象が起きました。嘘のような話ですが、植物に音楽を聴かせてその生長を促している所もあります。南あわじ市に「**モーツアルト野菜の会**」、鹿児島県にも「**クラシックブドウ浜田農園**」などがあるようです。

その他、朝の様子では、メダカの世話をしている子供たち、学級の遊び道具を片付けている子供たち、その日の学級目標を廊下に掲げている子供たちなどが見られます。様々なことに頑張っている**素直な子供たちに心からエールを送り**たいくなる毎日です。



### トヨタがやってきた

5年生の社会では、例年、トヨタ自動車タイ工場の制作現場に出かけていき学習していました。しかし、今年はコロナ感染症のため、実施ができなくなり、**トヨタ社員8名(内、1名の方は本校卒業生)の方々に学校へ来て**いただきました。事前に子供たちの質問を送り、それに答えていただく形の学習を行いました。その際、これからトヨタが世界で果たさなければならないミッションの紹介もありました。

その一つが**社会貢献(TEPE=Tax, Employment, Product, Environment)**で単純に物を作って利益を得るだけではなく、タイや世界にどのような貢献できるのかを考えなければならないことで、社是にしているそうです。また、ご自身が帰国子女で、さらにご息子は本校のご出身という**二瓶 恵吾 副社長**からは、「国際人としての勉強」と題し、本校の子供たちへのメッセージをいただきました。

「海外で暮らせば国際人になるわけではない。」

- ① 感じたことを大切に⇒(なぜなのか考えること)
- ② よいところを見付ける癖を付ける⇒(タイ人が日本人より優れている点を5つ上げよ)
- ③ 日本人が特異であることを自覚する。



#### ④ 学び続けることが大切

「国際人とは、自国や他国のいいところ、悪いところを理解した上で、両国のためになることができる人である。」

5年生だけではなく、私たち大人にも参考になる話でした。(子供たちはトヨタのロゴの入った帽子をもらい、嬉しそうでした。)

### 中学部「クラスマッチ」

中学部のクラスマッチが3日間かけて、7年、9年、8年の順に行われました。全学年共通種目が全員リレーで、学年種目は7年「長縄」、9年「ドッジボール」、8年「台風の目」でした。それぞれのクラスが始業前や昼休みに練習をしていました。練習はうまくいかなかったけど、本番でうまくいったクラスやその逆のケースのクラスもありました。その中で、予行の時から勝つことよりも**クラスマッチを楽しむ**ことに目標を掲げて競技に臨んでいたクラスが印象的でした。人は勝負にこだわりたがるものですが、クラスマッチの本来の目的は「**クラスや学年の人間関係づくり**」にあります。そのクラスは上位入賞こそ逃したものの、子供たちの顔はさすがでした。



また、このクラスマッチで、何よりも良かったことは、この企画・運営に携わった子供たちへの授賞も行われたことです。大切なことを決して忘れることなく、思い出に残るクラスマッチになったと思います。

次の**小学部 ミニ運動会**、**中学部 ブロック演技披露会**に向かって、子供たちは始業前などの空き時間を活用しながら、よさこいソーラン、自由創作ダンスなど、様々な演技の練習に取り組んでいます。

### 研究授業が行われています

「きりつ、しせい、れい、これから **算数のお勉強をはじめます。**」子供たちが緊張の面持ちで授業に臨んでいます。いつもとは違い、たくさんの先生方が授業を見に来ているからです。私も子供の頃、他の先生方が授業参観に来られると、自分のクラスに何か問題があるからではないかと思っていました。子供たちの様子を伝えるPTAの授業参観とは違い、**教員同士で行う授業参観は、授業者に指導法をフィードバックするため**に行われます。学校では、指導方法等を学ぶために提供する授業を研究授業と言ひ、授業後に行う研修のことを授業研究と言っています。

本校には大きく分けて**2種類の採用形態が異なる教員**がいます。文部科学省が面接等を行い、派遣している**文科派遣教員**と学校が面接等を行い、採用をしている**学校採用教員(現地採用教員)**です。現在、研究授業を行っている教員は学校採用の1、2年目の先生たちです。授業者は1時間の研究授業に向かって、授業の組み立て、子供に尋ねる質問(発問)や予想される子供の反応、時間配分、黒板に書くこと(板書)などの準備を、何週間も前から始め、本番を迎えます。当然、授業後も自身の反省とともに、見学した先生からもアドバイスをもらいます。また、子供一人一人の反応もみながら、対応策も話し合われます。たった1時間の授業だと思われるかもしれませんが、**研究授業**をすることによって、指導法のみならず、教材の研究の仕方も同時に学ぶことができるので、**授業者のみならず、参加した先生方にも役に立ちます。**それが子供にも還元されることになります。



今、**タイ語の先生方も研究授業**を行っています。本年度、本校で働き始めた3人の先生方(ワンディダー先生、スウィダー先生、タナーポーン先生)を対象に、オーラスムディレクターをはじめ、他のタイ語の先生方が授業を見学しています。当然、指導案もあり、後日、授業研究も行われます。

これからもたくさんの研究授業を行っています。より分かりやすい授業を目指し、子供たちと一緒に**教員もパワーアップ**を図っていきたいと思います。



11月の中学部「ブロック演技披露会」小学部「ミニ運動会」開催にあたってPTAより児童・生徒へドリンク類などを提供していただきました。ありがとうございました。

## 2020年度 11月行事予定 泰日協会学校

日	曜	児童生徒	下校バス (1-9年)	特
1	日			
2	月	【小】委員会活動② 【中】ブロック演技披露会リハーサル	14:10 1,2年 15:15 3-9年	
3	火	【中】ブロック演技披露会	15:15 J-Bus	J
4	水	【中】専門委員会	14:10 1年 15:15 2-9年	
5	木		15:15 J-Bus	J
6	金		14:10 1,2年 15:15 3-9年	
7	土			
8	日			
9	月		14:10 1,2年 15:15 3-9年	
10	火	【1年・5年】ミニ運動会	15:15 J-Bus	J
11	水	【2年・4年】ミニ運動会 【中】教育相談週間(~18日)	14:10 1年 15:15 2-9年	
12	木	【3年・6年】ミニ運動会 【中】第3回定期テスト①	14:10 7-9年 15:15 1-6年	☆
13	金	【中】第3回定期テスト②	12:15 7-9年 14:10 1,2年 15:15 3-6年	☆
14	土			
15	日			
16	月	【小】教育相談週間(~27日)	14:10 1,2年 15:15 3-9年	
17	火		15:15 J-Bus	J
18	水		14:10 1年 15:15 2-9年	
19	木	【タイ国特別な休日】		
20	金	【タイ国特別な休日】		
21	土			
22	日			
23	月	【中】生徒会選挙 【小】クラブ③	14:10 1,2年 15:15 3-9年	
24	火	【中3】成績開示	15:15 J-Bus	J
25	水	【中】専門委員会	14:10 1年 15:15 2-9年	
26	木	【小5】チャーム臨海学校①	15:15 1-4年 6-9年	☆
27	金	【小・中】個別面談① 【小5】チャーム臨海学校②	12:15 1-4,6-9年	☆
28	土	【小5】チャーム臨海学校③		
29	日			
30	月	【小・中】個別面談② 【小5】振替休日	12:15 1-4,6-9年	☆

**下校バスの時刻は「デモ対策」として、この時刻よりも15分繰り上げた時刻で下校しています。**